

2020年度 性の健康・リレーションシップ教育Eラーニングシステムの開発(covid19変える) 事業
助成：日本財団

ライフデザイン

ONLINE

事業報告書

2022年3月
NPO法人 ピルコン



Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

本報告書の構成



- ライフデザインオンラインコンセプト P3-4
- ライフデザインオンライン立ち上げの経緯 P5
- ライフデザインオンラインで大切にしていること P6
- ライフデザインオンライン利用イメージ P7
- プロジェクトメンバー・体制 P8
- スケジュール P9
- 教材・授業紹介 P10
- ローンチイベント報告 P11
- 今後の課題と展望 P12

性の健康・リレーションシップ教育E-ラーニングシステム 「ライフデザインオンライン」コンセプト

ライフデザイン
ONLINE



自分の人生をデザインしよう

この変化の時代、自分のミライを切り拓くために必要なことはなんだろう？

知ること、そして対話することは、
生きるチカラになる。

さあ、ミライの自分をソウゾウしよう。

性教育の出張講演や政策提言を行ってきたNPO法人ピルコンは、日本財団の助成を受け、日本で初めてとなる教員向けの包括的性教育教材ポータルサイト「ライフデザインオンライン」を2022年2月、公開しました。

URL : <https://lifedesign.pilcon.org/>

性の健康・リレーションシップ教育E-ラーニングシステム 「ライフデザインオンライン」コンセプト

Who (対象者)

「高校教員の方」中心

(高校生向け性教育講座プログラムのダウンロードサイト)
今後、助産師など性教育講演をする人に有料会員として広げていく

学校の先生：
全国の学校の先生の性教育のスキルや授業実施機会の拡大

高校生：
性について、知識を身に着け、他者を尊重しつつ自己決定ができるようになる
性について肯定的に捉えることができるようになる

What (機能)

- ・会員以外でも、講座プログラムを探すことはできる
- ・会員の方が講座プログラムコンテンツをダウンロードできる

講座マテリアル

- ・投影資料 (PPT)
 - ・動画コンテンツ
 - ・ワークシート
 - ・アンケート書式
- 先生向けQ&A,コラム

メイン機能

- ・教材ダウンロード
- ・アンケート書式ダウンロード
- ・コラムなど性教育情報の閲覧
- ・問い合わせ・質問
- ・講座申込
- ・他既存教材の紹介
- ・他相談支援先の紹介・リンク

Concept

「ライフデザインオンライン」：自分の人生をデザインしよう
この変化の時代、自分のミライを切り拓くために必要なことはなんだろう？ 知ること、そして対話することは、生きるチカラになる
さあ、ミライの自分をソウゾウしよう

キーワード

ワクワク感、先進的、ジェンダーニュートラル、エンパワー、寄り添う

大切にしたいこと

知識：ジェンダー、多様性、健康、権利、暴力、思春期、生殖、性的行動、包括的

スキル：リテラシー、批判的思考、伝える、交渉、想像力、問題解決、援助希求、感情のコントロール、協力
自分自身を大事にする (セルフケア)

態度：

相互理解
自他の境界線を尊重する
社会参画への意識
エンパワメント (自己肯定感・自己効力感)

学習者中心、権利ベース

「変化」の時代を生き抜くスキル
…選択肢を知り、自分を知り、相互関係の中で意思を持って進む

ライフデザインオンライン立ち上げの経緯

✓ 2020年から続くコロナ禍の影響

学校の長期休校などの影響を受け、ピルコンに寄せられる10代の妊娠不安の相談が急増しました。またコロナ禍で今後の状況が不確かな状況下でも、学生への性教育を受ける権利を確保できる仕組み作りが急務でした。

✓ 多忙な学校教員がアクセスしやすい教材にニーズ

また、包括的性教育の注目が集まる中、学校教員の方から「性教育をどう教えていいかわからない」「勉強会に参加したいが時間がない」などの声を多くいただきました。その一方、情報がバラバラでまとまっておらず、多忙な教員がアクセスし情報を集めるには困難な状況があります。また、「性教育」という言葉から来るイメージが様々であり、管理職や他の教員の理解を得ることへのハードルがあることが課題に挙げられました。

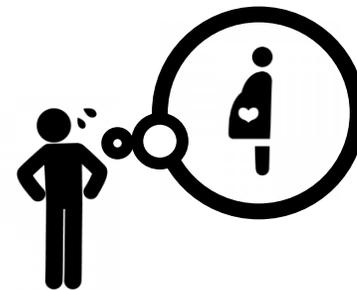
性教育を行う上での課題

- 1位：時間がない …55%
- 2位：どうやって性について教えていいかわからない …34%
- 3位：教材がない …24%
- 生徒からの質問への対応に自信がない
- 保護者への対応に自信がない

性教育に必要なサポート

- 1位：スライド教材や動画教材 … 69%
- 2位：教員向け研修の充実 … 64%
- 3位：信頼できる外部講師の情報 … 57%
- その他、教員が専門家に相談できる場、学校内や保護者対応のサポート、自治体や教育委員会の後押し、など

2021年ピルコン
教員向けアンケートより



一方、多くの学校でインターネット環境の整備が進められ、これらの課題を解決するため、日本財団の助成を受け、「ライフデザインオンライン」は生まれました。

ライフデザインオンラインで大切にしていること

各テーマで、ライフデザインに関する知識を解説する講義動画や若者のインタビュー動画を豊富に取り揃えました。



動画コンテンツが充実



多様な性のあり方を尊重

プログラム全体を通して、男女の2つだけではない多様な性のあり方を尊重する表現を目指しています。



専門家が監修

性教育・ジェンダー教育の専門家やワークショップデザイナーが監修に携わり、また様々な専門家のアドバイスを得てプログラム開発を行いました。



対話的な学習プラン

知識提供だけではなく、自分の気持ちや経験に向き合い、他のメンバーとの議論やワークショップを含む学習デザインにしました。



講演依頼にも対応

ピルコンでは、学校や施設を訪問、もしくはオンラインでの講演のご依頼も受け、幅広い学校ニーズへの対応をしています。

ライフデザインオンライン利用イメージ

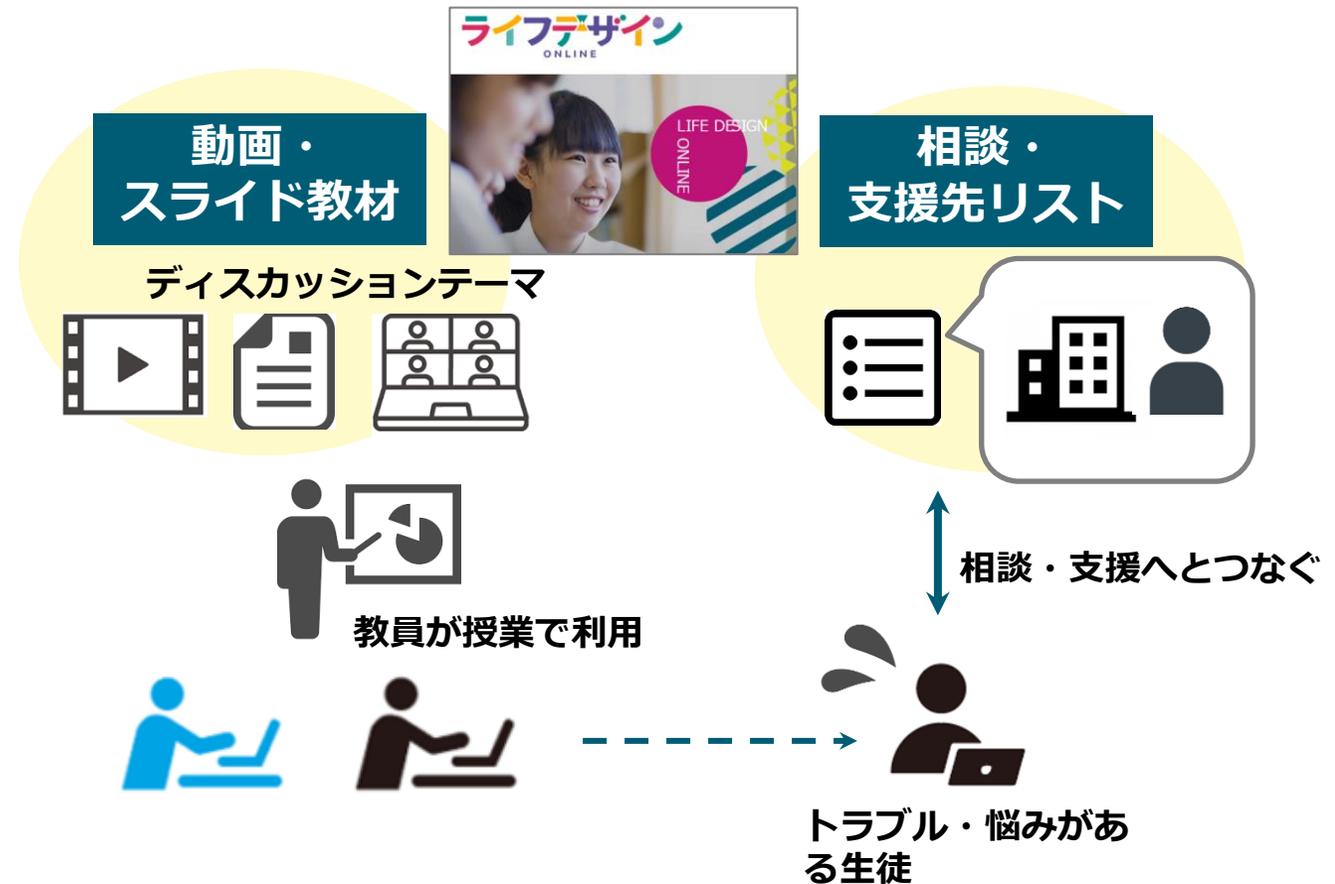
「ライフデザインオンライン」では、会員登録（無料）をした教員が、以下の授業教材を利用できます。

- ・ 授業用スライド（パワーポイント/PDF）
- ・ 動画（若者のインタビュー動画等）
- ・ ワークシート
- ・ 事前・事後アンケート
- ・ 授業の流れ・実施計画

また、教員向けの教材提供だけでなく、トラブルや悩みがある生徒向けがいた場合の、関連する相談・支援先の紹介も内容に含め、またウェブサイトにも機関一覧の紹介ページを作成し、相談・支援につなぐことも大切にしました。

▼相談・支援先リスト一覧

<https://pilcon.org/help-line/contact>



プロジェクトメンバー・体制

「ライフデザインオンライン」の開発において、ピルコンで講演経験が豊富で、人権教育・セクソロジー（性科学）を学んできたスタッフを中心に行いました。『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』（ユネスコ編）の翻訳者の1人である埼玉大学基盤教育研究センター准教授・渡辺大輔氏がプログラムの監修を担当し、湘南工科大学特任教授でワークショップデザイナーの樋栄ひかる氏にワークショップデザインの助言をいただき、開発を行いました。

また、海外の性教育機関や大学・高校教員、市民活動家、産婦人科などの専門家や若者にヒアリングを行い、内容のブラッシュアップを重ねました。

デザインは、社会問題をやさしく伝える活動をしている「チャリツモ」、サイト制作は性教育サイト「命育」が担当し、分かりやすく親しみやすい表現を目指しました。

プロジェクトマネジメントは、SVP TOKYOのパートナーにもサポートいただきました。

プログラム開発



染矢明日香



キムハリム



高橋宏美

サポート



監修・助言



埼玉大学
渡辺大輔氏



樋栄ひかる氏

アートディレクション



サイト制作



助成



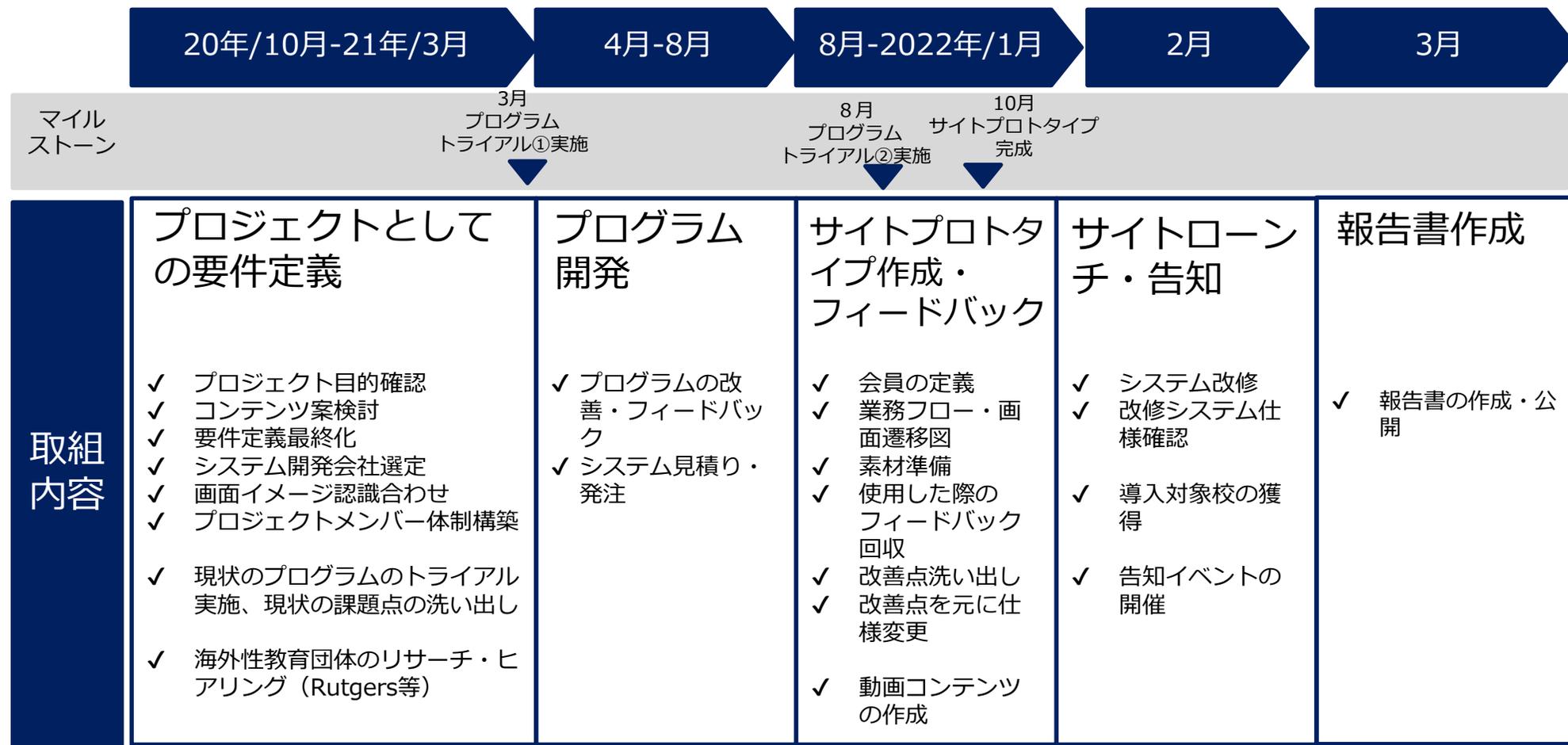
専門家・
市民活動団体



近畿大学附属
高等学校の皆さん・
若者の皆さん

スケジュール

本プロジェクトは、下記のようなスケジュールで開発を進めました。



ライフデザインオンライン教材・授業紹介

ローンチ時は以下の6テーマの教材を開発しました。

6テーマの授業でつかえる教材が揃っています



性別ってなんだろう？

多様な性・ジェンダーの理解を深め、
自他を尊重する方法について考えます。



これからのライフプランを考えよう！

月経、射精、妊娠、避妊等の知識を学び、
これからの人生設計を考えます。



性感染症ってなんだろう？

性感染症の理解を深め、予防や無関心・
差別を減らす方法について考えます。



SNS、インターネットを 楽しく使うには？

SNS・インターネット上のトラブルや
相談機関を知り、対処法を考えます。



性的同意ってなんだろう？

同意、デートDVの理解を深め、
対等で健康的な人間関係を考えます。



10代ってどんな時期？ 自分の体、どう思う？

コンプレックスとメディアからの影響、
ボディイメージについて考えます。

会員登録をするとライフデザインオンラインのすべての教材をご利用いただけます

授業用スライド(パワーポイント/PDF)

動画

ワークシート

事前・事後アンケート

◆受講した生徒からの声（一部抜粋）

私の中で特に印象的だったのがボディポジティブです。私自身も、自分の体に自信がなく過度なダイエットをした経験があるので、ボディポジティブの考えはまさしくその時の私に突き刺さるメッセージでした。

日本はルッキズムの文化が根強い国だと思います。痩せているほうがいいとか脱毛などSNSの普及やTVなどのメディアの影響で自分の容姿に自信を失ってしまう人が多くいると思います。だからこそ、ボディポジティブの考えは大切だと思うし、自分と向き合う中で自らの存在を肯定することができればいいなと感じます。

たくさんの人の意見を聞きながら学びを深めることができている経験になりました。

性について考えることは自分だけではなく大切なパートナーや友達を守ることもできると感じました。

これからは、周りと比べずに私は私と自分のペースで歩いていこうと思います。

性に関する問題は全部繋がっているんだということがよりわかりました。SNSのところで性的同意の話が出てきたり、またその性的同意のためには性感染症などのリスクの知識が必要だったり、6つのコマを通して、どの1つのテーマも蔑ろにしてはいけない大切な知識なんだなと感じました。

ローンチイベント報告



Produced by PILCON
ライフデザイン
ONLINE

自分らしく生きるチカラを
育む、探求型学習を
授業づくりに活かすには

基調講演「包括的性教育の今とこれから」渡辺大輔先生

2022.2.11 FRI.
14:00-16:00
ONLINE WEBINER

PILCON
THINK ABOUT LOVE & LIFE

Supported by 日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

「ライフデザインオンライン」のオープンを記念して、2022年2月11日にオンラインイベントを開催しました。

監修者である埼玉大学渡辺大輔先生に基調講演「包括的性教育の今とこれから」をいただき、「ライフデザインオンライン」の開発背景と紹介を行いました。

当日は約100名の方に参加いただき、大変盛況に終わりました。

参加者アンケートでは、95%以上の方にイベントに満足したとご回答いただきました。

また、教員以外にも助産師やNPO等地域での性教育を行っている人も多く関心を持っていることも知ることができました。

◆参加者からの声（一部抜粋）

かつて、性教育を頑張る先生は、教員・保護者の中で孤立しがちなイメージがありました。実際、独りよがりな性教育も確かにあり、教える側の質、教材の検討がなされないまま、個別にバラバラに行われて、継続されないのが常でした。学びたい・知りたい・教えたいというニーズが一つにつながる、画期的なシステムだと思います。今後、実践の実績などが加わり、また新しい教材が掲載されるのも楽しみにしております。

国でできない仕組みを作っていく壮大な計画を尊敬申し上げます。これらの事が有識者、国の認知をも変え、教員養成の大学での必須科目にセクシュアリティに関わる教科が盛り込まれるなどの変化に繋がりますようお願いしております。

ただ資料を掲載するだけでなく、授業時間にあてはめて検討されていること、動画など明るいイメージで作られていることが特に良いと思います。授業で使われる動画は、恐怖心や不快感を植え付けるようなものが多かったので、明るく優しい印象がうれしいです。

学習指導要領や国際セクシュアリティ教育ガイダンスに基づいて、学校現場の教育とかけ離れず、現代に必要な学習内容を網羅していること。

ビデオ教材があるのがよかったですと思います！また学校の先生の実際の使いやすさに配慮されていてすばらしかったです！

今後の課題と展望

✓ 会員登録・利用促進の課題

ライフデザインオンライン会員の登録者は2022年3月31日現在51名となりました。また、自団体においても、E-ラーニングシステムを活用しての性教育講演を中学校1校、高校2校で実施することができました。

一方で、学校によってはインターネット環境などにより、使用が難しい学校もあるとも伺っており、地域の教育委員会や教育センターとの協働しながら、よりよい提供方法を探る必要性があると考えられました。

今後も広報にも引き続き注力し、教員の授業実施状況について、定期的にアンケートをとり、モニタリングを行っていきます。また、助産師やNPOなど市民活動団体、保護者なども利用したいとの声があり、今後会員を広げる検討を進めます。

✓ 教員向けコンテンツ・研修の充実化

教員が生徒に教えるための教材だけではなく、教え方や質問への対応方法などにもニーズがあり、教員向けコンテンツの開発と、教員向けの研修もあわせておこなっていきます。

✓ 「包括的性教育を義務教育で」政策提言への展開

日本において、性の健康について知る権利を実現するため、義務教育段階からの包括的性教育のカリキュラム化を目指し、「性教育は必要」という教員・市民の声を更に集め、政策提言に活かしていきます。

ライフデザインオンライン事業報告書

2020年度 性の健康・リレーションシップ教育Eラーニングシステムの開発(covid19変える) 事業

発行：2022年3月

NPO法人ピルコン

<https://pilcon.org/>

ライフデザインオンライン

<https://lifedesign.pilcon.org/>

助成：日本財団

本報告書の内容の無断転載・転用は禁止します。